

（国の動き）

- H29病床機能報告で「急性期」を報告する全医療機関について、9領域・19分析項目を分析。
「A：診療実績が特に少ない」又は「B：類似かつ近接」のいずれかに該当する公立・公的医療機関について、具体的対応方針に係る再検証の要請対象として、9/26に公表。（道内では54医療機関）
- 再検証の結果、
 - ・再編統合を伴う場合は、来年度9月末（2020年9月末）までに結論。
 - ・再編統合を伴わない場合は、今年度末（2020年3月末）までに結論。

※ 正式な国要請文は未発出

（道の対応の方向性）

- 今回の国公表データは、**一定の条件下で全国一律に分析されたものであり、絶対的な分析結果とは捉えていない。**
- 今年度、地域医療構想の実現に向け、**圏域ごとに「重点課題」を設定し、具体的な取組（急性期機能の集約化、病院の再編・統合など）に向けた集中的な議論を進めていただいているところであり、今後もこの方針を変更することは考えていない。**
- 今回の国公表データも、**各圏域の診療状況を示す1つの参考資料としながら、「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等」として公表されたかどうか、また、公立・公的医療機関等であるかどうかに関わらず、引き続き、地域医療構想調整会議等において、具体的かつ集中的な議論を進めていただきたい。**

診療実績の分析方法 (A) 診療実績が特に少ない

1. 人口規模別に全国の構想区域を5つのグループに分類

①10万人未満

■ A県○○構想区域
・ aa病院、 bb病院

■ B県▲▲構想区域
・ cc病院

■ C県□□構想区域

②10万人以上～20万人未満

・ ・ ・ ・

③20万人以上～50万人未満

・ ・ ・ ・

④50万人以上～100万人未満

・ ・ ・ ・

⑤100万人以上

・ ・ ・ ・

2. 人口規模別のグループごとに、各医療機関の診療実績等を並べ、一定の水準を満たすか評価

○次により「特に診療実績が少ない」か判断

- ・ 領域①～⑤は各分析項目の値が、**下位33.3パーセンタイル値に満たない場合**
- ・ 領域⑥は**周産期母子医療センターの指定を受けていない**、かつ、各分析項目の値が、**下位33.3パーセンタイル値に満たない場合**
- ・ 領域⑦～⑨は、それぞれ**拠点病院**（災害拠点病院、へき地拠点病院、臨床研修病院（基幹型））の**指定を受けていない場合**

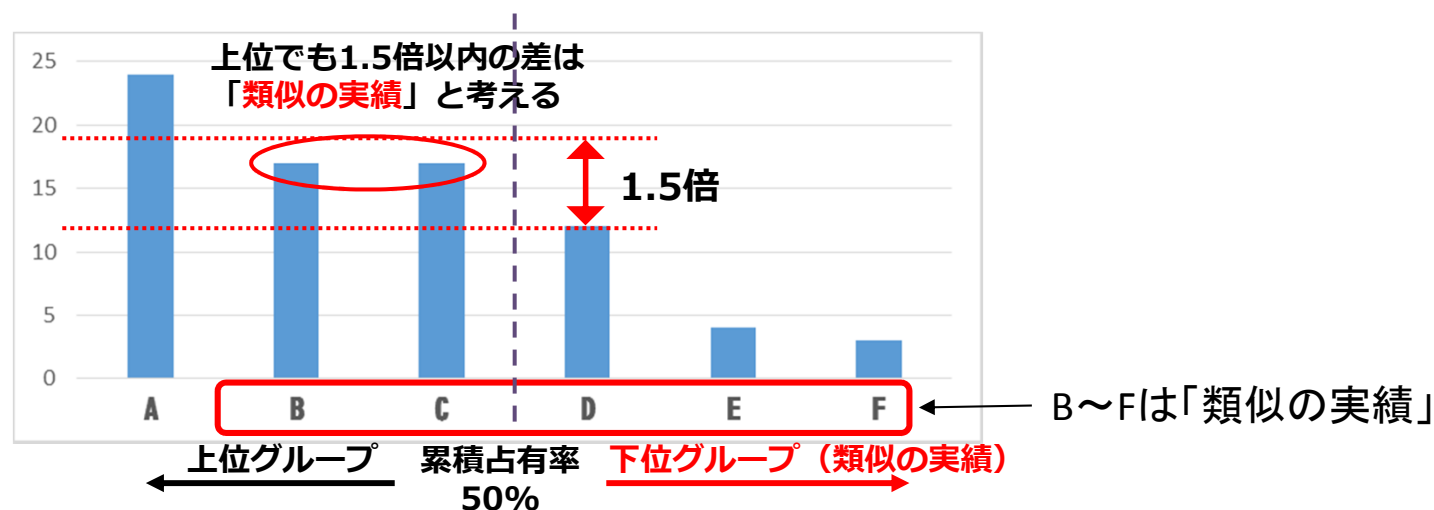
⇒ **9領域全てにおいて「特に診療実績が少ない」と評価される場合、再検証要請の対象となる。**

領域（9）	分析項目（19）
①がん	肺・呼吸器
	乳腺
	消化器（消化管、肝胆膵）
	泌尿器/生殖器
	放射線療法
②心筋梗塞等の 心血管疾患	急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル手術
	外科手術が必要な心疾患
③脳卒中	超急性期脳卒中加算
	脳動脈瘤クリッピング術等
	開頭血腫除去術等
	血栓除去術等の脳血管内手術
④救急医療	救急搬送等の医療
	大腿骨骨折等
⑤小児医療	小児入院医療管理料・ 新生児集中治療室管理料等
	分娩件数
⑥周産期医療	ハイリスク分娩管理加算
	災害拠点病院の指定
⑦災害医療	災害拠点病院の指定
⑧へき地医療	へき地医療拠点病院の指定
⑨研修・派遣機能	臨床研修病院（基幹型）の指定

診療実績の分析方法 （B）類似かつ近接

類似の実績

- 各構想区域において、診療実績の**累積占有率50%を基準**として、上位グループと下位グループに区分
- **下位グループ（図のD,E,F）はすべて、「類似の実績」と考える。**
- **上位グループでも、下位グループで最大の実績をもつ医療機関（図のD）と1.5倍を超える差がない場合（図のB,C）は、「類似の実績」と考える。**



近接

- 各領域・各分析項目について、同一構想区域内で、車で20分以内の場所に診療実績を有する他の医療機関（「診療実績が特に少ない」医療機関を除く）がある場合、「近接」と分析

⇒**領域①～⑥の6領域の各分析項目全てにおいて「類似かつ近接」と評価される場合、再検証要請の対象となる。**

分析データの見方

9項目全てに●が付いた場合
「診療実績が特に少ない」

6項目全てに●が付いた場合「類似かつ近接」

医療機関施設名 都道府県コード	設置主体	稼働率（高度急性 休養中等病床数 慢性期病床数 回復期病床数 急性期病床数 高度急性期病床 合計病床数	人口区分 公立・公営医療機関等	A 診療実績が特に少ない がん	B 類似かつ近接 がん	再検証要請対象医療機関 該当数
01 ○○市立○病院	9市町村	560	8 457 48 0 47 81%	○	○	1
01 ○○医療センター	17共済組合及びその連合会	286	0 96 44 146 0 83%	○	○	6
01 ○○町立○病院	9市町村	99	0 99 0 0 0 58%	○	○	5

次の指定を受けていると「診療実績が特に少ない」に●が付かない

- ・ 周産期医療 : 「総合周産期母子医療センター」
「地域周産期医療センター」
- ・ 災害医療 : 「災害拠点病院」
- ・ へき地医療 : 「へき地拠点病院」
- ・ 研修・派遣機能 : 「基幹型臨床研修病院」

医療機関施設名 都道府県コード	実績の実数	分析項目ごとのA評価										分析項目ごとのB評価										
		【周産期医療】ハイリスク分娩管理加算	【周産期医療】分娩件数	【小児医療】小児入院医療管理料・新生児集中治療室管理料等	【救急医療】大腸骨骨折等	【救急医療】救急搬送等の医療	【脳卒中】血栓除去術等の脳血管内手術	【脳卒中】開頭血腫除去術等	【脳卒中】脳動脈瘤クリッピング術等	【脳卒中】超急性期脳卒中加算	【心筋梗塞等の心臓疾患】外科手術が必要な心臓疾患	【心筋梗塞等の心臓疾患】急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル手術	【がん】放射線療法	【がん】泌尿器／生殖器	【がん】消化器（消化管／肝胆膵）	【がん】乳腺	【がん】肺・呼吸器	【がん】放射線療法	【がん】泌尿器／生殖器	【がん】消化器（消化管／肝胆膵）	【がん】乳腺	【がん】肺・呼吸器
01 〇〇市立〇〇病院	*			542	14	0	5,518	*														
01 〇〇医療センター				0	0	0	312	*														
01 〇〇町立〇〇病院				0	0	0	475	*														

各領域の全ての分析項目に●が付く場合（下位、33.3パーセンタイルに満たない）、その領域は「診療実績が特に少ない」と判断

A評価（類似と考える⇒近接を別途勘案）又は、B評価（類似かつ近接を満たす）のいずれかに該当し、全ての分析項目に●が付く領域は、「類似かつ近接」と判断